

平成26年 網走市議会
経 済 建 設 委 員 会 会 議 録
平成26年7月1日（火曜日）

○日時 平成26年7月1日 午前10時00分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 農作物作況調査の実施について
2. その他

○出席委員（5名）

委 員 長	佐々木 玲 子
副 委 員 長	小 澤 陽 平
委 員	工 藤 英 治
	栗 田 政 男
	古 都 宣 裕
	山 田 庫司郎

○欠席委員（1名）

委 員	古 都 宣 裕
-----	---------

○委員外議員（1名）

議 長	小田部 善 治
-----	---------

○傍聴議員（2名）

飯 田 敏 勝
高 橋 政 行

○事務局職員

事 務 局 長	佐 藤 明
次 長	吉 田 正 史
総務議事係長	岩 尾 弘 敏
係	菊 地 香代子
係	松 山 俊

午前10時00分開会

○佐々木玲子委員 おはようございます。

ただいまより経済建設委員会を開催いたします。

きょうの議件は、作況調査の実施についてということで、皆様で御協議いただきます。

作況調査の実施につきましては、6月16日開催の当委員会におきまして、実施することで決定いただきました。

内容につきましては、正副委員長に日程、視察先等を一任いただいておりますが、視察行程案がで

きましたので、内容について皆様に協議決定を願いたいと思います。

まず内容的に見ていただいて、よろしいでしょうか。だいたいこのような形で、ひととおり。

それで、前回の委員会のときに要望意向も含めて、正副と事務局のほうに何か要望がありましたらということで皆さんにお伝えしておりましたところ、委員会の中では古都委員から、流水館工事の進捗状況を視察してしたいという意見がありましたのと、そのあと一般質問等でも鳥獣被害に関しては結構皆さんからも出ておりましたので、その対策現場を視察してはどうかというお声があったものですから、皆さんに案をお示ししましたとおり、畑作3品のほかには、西部地区の鳥獣被害対策現場としてシカ柵を設置されているところを1カ所、そのあと天都山のほうに行きまして、天都山展望台・オホーツク流水館の建設工事の状況を視察。

まず鳥獣被害対策に関しましては、仕掛けたわなとかそういうものは、やはり人間の足跡とか匂いとかがつくと生かされなくなるということで、なかなか見に行くところは選定するのに難しかったのですが、シカ柵を見るということで御理解いただきたいと思います。

天都山展望台・オホーツク流水館に関しましては、今現在まだ掘削とか基礎工事の段階で、そしてまたさまざまな重機等動いているものですから、現場自体に入っていくことは御遠慮願いたいということで、現在の展望台のほうから全体を見下ろす形で、今どんな状況かというところを説明を受けながら視察ということにしたいと思います。

そのような形で、だいたい市役所を13時30分に出発、そして西部地区の鳥獣被害、その後天都山展望台、それから中部地区の農場、それから圃場、その次が南部地区、市役所に帰りつのが、16時50分というような形に設定しましたがけれども、このような形でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

時間とか行くところについては多少日程が近づくことにより変動があらうかと思っておりますけれども、この辺も御了承いただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山田庫司郎委員 帰庁ということで、16時50分に市役所に戻るという予定ですね。

いつも流れ解散というのが多いのですが、もし課題があつて必要性があれば、少し残ってみなさんと話をする必要があるのかなと思っているところがあるわけですが。

委員長として、帰庁してからどういうふうに使われているのですか。

○佐々木玲子委員長 私はいつもの形で考えていましたが、確かに実は流れ解散というのはちょっとなというのはなくはないですね。やはりきちんと委員会として締めてというほうがいいのかとも、私も思っている反面もあります。

皆さんはどうなのか。ほかの委員の皆さんの御意見も伺いたいと思います。

○工藤英治委員 これをやるとしたら、16時50分では時間的になにか話し合いをする時間は、ないような気がします。

30分くらい早くするとか、何かやるとなると少し話をしても、それはぎりぎりの17時半までになります。

○栗田政男委員 大変貴重な御意見だと思います。

わからない部分もしっかりと委員会として、再度勉強といったらおかしいですけども、確認するというのはいいのですが、最近の作況調査を見てみると、委員外委員も同行するようなケースが多くなっていますので、そうすると委員外議員の方は帰ってもらってという形と、それをやるのならば委員外議員は御遠慮いただいて、委員会ですっきりやってきたほうがというのと、普段から感じているのですけれども、この作況調査の場合は大人数で押しかけると、要するにいろいろな準備の段階で大変な御苦労されているのですよね。担当の方が。

その部分もあるので、その部分もきちんと議論して皆さんにお話を詰めた上で、しっかり反省会でもないのですけれども、委員会に戻ってしっかりやるというのは必要なことだと思います。

○佐々木玲子委員長 副委員長はいかがですか。

○小澤陽平副委員長 行った中で質疑はできると思っていますので、行った中で時間の調整もあるのですけれども、帰ってきてから感想だけを述べるのではなく、課題等があった場合には開いてみてはどうかというふうに思います。

○佐々木玲子委員長 そうしますと、課題がしっかりあると感じた場合はやるけれども、そうでなければ、

特に帰ってきてからやらなくていいというような副委員長の意見と、やったほうがいいのかという意見に分かれております。

山田委員から委員長の考えはというお話でしたので、今回はいつも見ないようなところも見てきますから、そういうことも含めて、しばらくやったことはありませんが、帰ってきてから一度委員会室で課題もあるのかも含めて一度戻って、委員会室で質疑があるかないか確認した上で、議論があるかないか確認した上で、閉めるというような形にしようと思いますが、それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そのような形でよろしく願いいたします。

それからいま話が出ました委員外議員の参加についてですけれども、いつもどおり認めてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、委員外議員の参加も認めるということで決定をいたしたいと思います。

では、作況調査につきましては、以上のような形で進めさせていただくということで、決定させていただきます。

○佐々木玲子委員長 委員会としての議件としてはこれで終わりですので、そのほか委員から何かございますか。

○工藤英治委員 視察へ行ってきた、その中で山梨の市役所の女子職員観光プロモーションチーム、それが大変よかったので、網走でもできることがないのか、女性職員の意識はどうか、その辺を私個人でアンケート調査をしてみようかなと思ったのですけれども、もしあれでしたら、委員会としてやるものかどうか、この辺、資料というかこのような形でやりたいというものをつくってきているので、配付させてもらって議論していただけたらと思います。

配付させていただいてもよろしいですか。

○佐々木玲子委員長 せっかくの案ですので、まず配付をしていただいた上で、皆さんの意見を聞きたいと思います。

〔資料配布〕

では皆さんの御手元に行ったと思いますので、説明願います。

○工藤英治委員 中身はみんなそれぞれ向こうの視察先でいろいろ聞いてきてわかったと思うのです

が、私としても男目線でのすべてがなされているのが普通社会であって、役所も決めごと企業も、やはり男目線が主体になっていると。そして観光に対しても。

これから女の人々が半分ここに書いてあるのですが、女性ならではの感性を活かして網走観光を再興。女性だからこそ気づく網走のよさ、課題を整理。女性の感覚で網走の魅力を発信。新たな手法含め多才な女性がつながる力で、新たな発想をという狙いをもとに、次の女性目線で網走観光を再構築アンケート。下記の問いにお答えください。

これを市の女性職員すべてにお願いしたいなど。ひっかかるかどうかともわからない、全然無視される場合、それからこれは女性職員だけでいいか囑託も含めるか、最後はまち場の人もというのか、それは網走。まるっきり山梨のそのままでいいのか。その辺も含めて、経済建設委員会としてやってみるか、なければ、会派としてやろうかと思っています。

○山田庫司郎委員 私山梨市の女性の取り組みに、非常にも感銘を受けて帰ってきた、報告レポートにもそういう気持ちで書かせていただきました。

工藤委員が言われたように、網走市にもこういうものがあつたらすばらしいかなという思いで帰ってきたのは確かです。

ただ私はあちらで非常に感銘を受けたのは、自主的に自分たちから動き出したという話があつたと、本当かどうかそれはこういうことを言うと失礼ですけども、実際そうだと思うのです。

それで、みずから立ち上がって声をかけ合ってやる中で、行政側のバックアップもあって、離れずつかずということで、非常にいい感じでやられているのでないかなという感想を受けて帰ってきたのです。

工藤委員から今あつたように、当市の市役所の中にもあつたものがあればいいかという視点は私もわかるのですが、自主的に出てきたというのと、市の職員の女性がどのような認識でいるかということで、アンケート取るのはひとついいのかもしれないですが、私としてはちょっと違う角度で物事を進めたほうがいいのかなと。意識調査的にやるということはひとつ意義があるのかもしれないけれども。

ただこれは議会側の立場でいえば、議会がやるからといっても、やはり理事者の理解を得ないと職員の管理は理事者側がしているわけですから、私はそこは大事にしていかなければならないだろうと。

工藤委員から、会派でもという話もありましたけれども、勝手にやることはそれはいいのかもしれないけれども、理事者にやってもらうということではなくて、もしやるとしても、まず理事者の理解をもらわなければならないと私は思うのです。かたいことを言っているのかもしれないけれども。

それで、これをとって、次に何をしたいこうかというふうになったときに、ぜひこういうプロジェクトチームが網走市も必要だということで、当委員会としてアンケートもやったとして、結果をもとにしてこうだというふうにして動いて、調査項目の中に入れて、ぜひつくるべきだというふうに動くのが本当にどうなのかなと。

非常にいい観点は観点です。女性の目線から見た観光なり、これからあるべき姿ということを知るといいうのはいいことなのですからけれども、次へ持っていく方が、非常に難しくなるような気がしているのです。臆病になっているつもりはないのですが。

皆さんからの御意見を聞きたいなと思いますので、工藤委員の発想をとめるという意味ではなくて、いろいろ整理をして、きちんとしていかなければならないであろうと。

アンケートを取るということは、その結果をもとに次のステップに進むという意味ですから。

○佐々木玲子委員長 そうですね。アンケートをとっただけで終わるわけではないので。

山田委員から今ありましたけれども、ほかの委員はいかがでしょうか。

○小澤陽平委員 アンケートをとること自体については、やってみたらおもしろいかなというふうに思いますが、確かにとったあと、そのアンケートをどのように使っていくのかというところが明確になっていないと、職員の方も戸惑ったりもするかと思いますので、このアンケートの目的を、例えば網走観光に生かすためのアンケートですという形で取るのか、こういうプロモーションチームをつくるためのアンケートにするのか、その方向性というのが大事だと思いますので、そちらをきちんとした形で精査してから、アンケートをとるということ自体につきましては、反対するものではございません。

○栗田政男委員 いいことだと思います。全然問題ないでしょうし。

ただ自由意思ですから、向こうに強制するものも何もないので、それをどう活用するかというのはこちらの話なので。

ただアンケートの今小澤委員から言われたように、アンケートをとる目的がこれを見た感じだとぼやっとしているので、こういうものがあって、すごくいいものだったので、当市も取り入れたいということを明確に伝えてあげれば、協力している方のデータとして我々はつかんで、その上からまた次のステップを考えればいいので。

アンケート自体を取ったからといってステップ、次を踏まなければいけないというものは何ものものないので、データとして必要なことであれば協力してもらうことはやぶさかでないですし、可能であれば委員会としてきっちりやるのも必要だと思います。

全然問題ないことだと思います。

○佐々木玲子委員長 皆さんの大体の意見は、それぞれの観点からのお話だったと思います。

アンケートそのものについて、皆さん異論がないということではあるのですが、その先においてこれをどうするのかっていう部分になると、意見が分かれるところかなと今思うところなのですが、これ一度、次回まで検討という形にして、もう一度このことについて、例えば目的なりがどうなのかとか、その辺のところをお話いただければと思います。

○工藤英治委員 実際目的は、どういうふうになるかというのを出てきたアンケートの結果によって、目的は変わると思います。

こういう結果が出ていますよと理事者に伝えるだけなのか、その中からこういうふうな人たちがいるけれども、これ匿名ですから誰がどうかというのが、こちら側がわかるわけではないけれども、意識の中にこういうのがありますよ、今後こうしたらどうですかという委員会から理事者への申し入れ、それは今度はみんなで委員会で決めることであって、アンケートの結果によって全く違うと思うのです。

誰も答えが出ないかもしれませんし、積極的な人があるかもしれませんし。

○佐々木玲子委員長 まずはアンケートをとって、状況を調査したいというような形のお話と受けとめてよろしいですか。

○工藤英治委員 委員会としたら非常に決めるにはいろいろなものがある。けれども会派だけでしたらアンケートを取るには何も制約はないなど。そして、そのアンケートの結果を会派としてやるのは、委員会というのは非常に難しいのかなと思ってはいるのです。

合議制である以上、委員会に出して調査をすると

いうのは、今言ったように先に目的ですか、いろいろなことがある。

今委員長が仕切られたように、この次もう1回というと、それはそれで私としても待つのが一番いいのかなと。いや会派でやらせてもらいますとそういうふうにはならない。もう1回というものがあれば、それが終わってからにしますということで、もう1回ということで、皆さんのあれがあればと思います。

○佐々木玲子委員長 そういういうことで、一度考える時間を少しおいたほうがいいかと思うのですけれども、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そのような形で、次回案件として上げさせていただきますので、きょうはこの工藤委員からの意見につきまして、皆さんに持ち帰っていただきたいと思います。

以上で、経済建設委員会を終了いたします。

午前10時20分閉会
